

◆学習を深めるために

1. 教育課程・授業科目について

◇本学では、各学科に必要な授業科目を2年間の4期（Ⅰ回生前期・後期及びⅡ回生前期・後期）に分けて配当し、原則として各学科単位で履修するよう教育課程を編成しています。

◇「**セメスター制**」では、それぞれ1期ごとに授業が完結します。ただし、前後期を通して履修する科目もありますので注意してください。

◇授業科目は、総合教養科目と専門教育科目に区分しています。

- (1) **総合教養科目**は、現代社会にふさわしい豊かな教養を身につけ、広い視野に立って考えることができるよう、さまざまな分野について幅広く学習する科目群です。
- (2) **専門教育科目**は、各学科で必要とされる専門的な知識・技能を習得し、将来社会人として活躍し得る能力を培うための科目群です。

◇授業科目には、必修科目と選択科目とがあります。

- (1) **必修科目**は、必ず履修しなければ卒業できない重要な科目です。もし不合格になれば、次の開講学期または学年において再履修しなければなりません。
- (2) **選択科目**は、多くの科目群の中から、自分の興味関心や適性能力に応じて、自由に選択できる科目です。

◇各科目の単位数は、授業の形態によって異なります。

- (1) 講義科目（毎週1講時で 1期・2単位）
- (2) 演習科目（毎週1講時で 1期・1単位、または2単位）
- (3) 実験・実習および実技科目（毎週1.5講時で1期・1単位、または毎週2講時で1期・2単位）

◇各科目の授業内容等を詳細に記述した「**講義概要**」（シラバス）をホームページにて掲載しています。履修科目を選ぶ際の参考としてください。

(1) 総合教養科目の種類と選び方

◇総合教養科目には、「人間教育の基礎」、「社会とくらし」、「いのちと健康」、「情報と国際理解」、「園芸」の5分野があります。総合教養科目のうちの「特別演習」、「人権教育の研究」、「キャリアデザイン」、「IT 技術Ⅱ」の計4科目9単位が必修科目で、他は原則として選択科目です。

◇総合教養科目の中で、本学の建学の精神に根ざす「人間教育」の柱として特に重視しているのが、「特別演習」です。この科目は、学長講話をはじめ、学内学外の先生方の講演を通して建学の精神を学び、傾聴する態度を養うとともに、現代に求められる大学生としての基礎的能力の向上を目指します。また、他者とのコミュニケーションを図りお互いの立場を理解し、信頼し合う人間関係の構築、自分の生き方や考え方を見つめ、豊かな教養と広い視野に立って的確な判断力を身につけ、より高い人間形成をめざします。

◇総合教養科目の中の選択科目は、それぞれの分野について数多く開講されています。各学科とも、それらの中から卒業までに3単位以上習得し、必修の9単位を含め12単位以上習得することが必要です。

◇総合教養科目の中の選択科目には、資格取得のための必修科目が含まれています。取得したい資格に必要な科目を確認し、単位を習得してください。

(2) 専門教育科目の種類と選び方

◇専門教育科目は、各学科ごとに決められており、それぞれの学科で必要とされる知識や技能を習得するための科目が設定されています。必修科目と全学科共通選択科目、学科選択科目等に分かれており、必修科目は必ず履修して単位を習得しないと卒業できません。選択科目についても可能な限り多くの科目を履修し、専門的な知識や能力を高める必要があります。

◇卒業するために、専門教育科目については、必修科目を含め各学科ごとに定められた卒業に必要な単位数を習得しなければなりません。

◇各学科に取得可能な資格が設定されています。資格を取得するためには、履修しなければならない科目が決められており、必要な単位を習得しなければなりません。

卒業に必要な要件とは別に資格取得に必要な要件を満たさなければならないので注意が必要です。

(3) 科目ナンバリングについて

◇各授業科目には科目ナンバーが付番されています。

◇科目ナンバリングは6桁で構成されており、先頭の1桁目は分類コードを示しています。1は総合教養科目、2は学科共通の専門科目、3は生活環境学科の専門科目、4は幼児教育保育学科の専門科目を設定し、科目の分類を表しています。

(4) 教務システムについて

学生生活における連絡事項の確認など、多くの場面で教務システムを利用します。毎日1回は、教務システムにログインして、連絡事項等を確認してください。なお、ログインのための、ID やパスワードは入学時、教務課より各自に伝えられます。

総合教養科目表

区分	分野	科目 ナンバー	授業科目	サブタイトル	単位	授業 形態	1 回 生		2 回 生		担当者	備考	園 芸	生活環境				幼児		
							前	後	前	後				医療 医 診	レ	調	ソ	社 福	幼	保
必修	人間教育の基礎	100010	特別演習	心を育てる - 大学生として -	4	演習	○	○	○	○	担任								◎	
		100020	人権教育の研究	人権意識の啓発	1	講義		○			森井									
		100030	キャリアデザイン	キャリアをデザインする	2	講義	○				木村雅								○	
		100040	I T 技術Ⅱ	AI・デジタル社会と活用	2	演習		○			馬場栄							(◎)	○	
選択	社会とこころ	100050	日本国憲法	日本国憲法を身近にする	2	講義	○				森井							◎	○	
		100060	社会と防災	環境問題と防災	1	演習				○		開講せず							○	
	いのちと健康	100070	生命倫理	現代医療における倫理的問題	2	講義				○	浅沼								○	
		100080	臨床心理	こころの健康とその支援	2	講義				○	酒井								○	
		100090	健康とスポーツ科学	健康と運動	1	講義			○		吉田							◎	◎	
		100100	健康とスポーツ科学実践	健康なこころとからだをつくろう	1	実技				○	吉田							◎	◎	
		100110	自己と他者理解の心理学	こころのしくみとはたらき	2	講義			○		酒井						◎	◎	○	
	情報と国際理解	100140	英語Ⅰ	グローバルコミュニケーション	1	演習	○				上村							◎	◎	
		100150	英語Ⅱ	グローバルコミュニケーション	1	演習		○			上村							◎	◎	
		100160	グローバルスタディⅠ	日本の文化アラカルト	2	演習	○				林・藤・堀・嶋									
	園芸	100180	I T 技術Ⅰ	アプリケーションソフトの活用	2	演習	○				馬場栄							(◎)	○	
		100200	園芸学	園芸の科学と文化	2	講義	○				宮上		◎						○	
		100210	園芸福祉概論	園芸の福祉的活用	2	講義		○			石神・宮上		◎						○	

◎ 資格必修

(◎) 資格選択

○ 資格選択必修

* 資格取得サポート

学科別科目表

生活環境学科

区分	科目 ナンバー	授業科目	サブタイトル	単位	授業 形態	1 年生		2 年生		担当者	備考	免許・資格											
						前	後	前	後			デジタルデザイン				医療				園	生 社 福		
												IT	プロ	イラ	フォト	ウェブ	色	医	診			レ	調
必修	300010	生活環境概論	現代の生活環境を考える	2	講義	○				守野・中野													
	300050	コミュニケーション論	コミュニケーションと人間関係	2	講義	○				酒井													
	300060	生活文化演習	生活力を高めるために	1	演習		○			中野・守野													
	300070	キャリアデザイン演習	誰もが健康で安心して暮らせる社会	1	演習		○			木村雅													
	300080	社会福祉	社会福祉の基礎的理解	2	講義			○		藤原ほか										◎		◎	
	300090	地域社会論	地域社会における様々な問題	2	講義	○				森井・早坂・池田													
	300100	課題解決演習	社会の多様性や関係性を理解する	2	演習		○			木村雅・永藤・木村弘	I・II 回生同時												
	300110	映像とデジタル表現	映像とデジタル表現の基礎	1	演習		○			馬場栄													
	300120	グローバルスタディⅡ	興味・関心のテーマの発見	2	演習		○			林・藤上・中野													
	300130	グローバルスタディⅢ	専門的知識と技能の統合	2	演習			○		林・藤上・中野													
	300140	卒業研究	知識・技術の追求	2	演習				○	専任													
全 学 科 共 通 選 択 目	200010	生活と造形表現	造形表現の基礎	1	演習				○		開講せず												
	200020	IT 技術応用Ⅰ	情報の応用的な利用方法	2	演習				○	馬場栄													
	200030	IT 技術応用Ⅱ	プログラミング	2	演習				○	馬場栄													
	200040	情報リテラシー基礎	情報の応用的な活用方法	2	演習		○			馬場栄	*												
	200045	情報リテラシー応用	情報の応用的な活用方法	2	演習			○		馬場栄	*												
	200060	色彩と空間	色彩と空間の関係	2	講義	○				中野								*					
	200070	デザイン技法	デザイン・デッサン	2	演習		○			宮上													
	200080	デザインと人間理解	デザインと色彩の心理的効果	2	講義	○				早坂													
	200090	マーケティング論	マーケティング心理・消費者心理など	2	講義	○				佐久間													
	200100	Web デザイン基礎	HTML/CSS	2	演習		○			馬場栄								*					
	200110	ビジュアルイゼーション	絵や言葉を図にする	2	演習		○			中野													
	200120	プログラミング	日商プログラミング検定対策	2	講義			○		馬場栄			*										
	200125	クリエイティブイノベーション	「創造的思考力」を実社会で応用する	2	演習		○			佐久間													
	200130	デジタルデザイン演習Ⅰ	Illustrator 演習	2	演習			○						*			*						
	200140	デジタルデザイン演習Ⅱ	Photoshop 演習	2	演習			○							*		*						
	200150	Web デザイン応用	Web クリエイター能力認定試験・ウェブデザイン技能検定対策	2	演習			○		馬場栄							*						
	200160	デジタルデザイン応用	Illustrator・Photoshop クリエイター能力認定試験対策	2	演習			○					*		*	*							
	200170	データサイエンス実践	データ分析演習・課外学習	2	演習			○															
	200180	Web プログラミング	JavaScript・PHP	2	演習				○														
	200190	デジタルマーケティング論	Web マーケティング・SEO	2	講義				○														
	200200	Web デザイン実践	Web サイト制作演習	2	演習				○														
	200230	発表技法論	話題の整理と表現方法	2	演習			○		木村雅													
	200240	園芸福祉演習	園芸福祉士として活躍するために	2	演習			○		宮上												◎	
	200250	ガーデニングⅠ	初めてのガーデニング	1	演習	○				宮上												◎	
	200260	ガーデニングⅡ	庭づくり	1	演習		○			宮上												◎	
	200270	園芸デザイン	ゆとりある生活のために	1	実習		○			中野・宮上	I・II 回生同時												
	200280	テーブルコーディネート	空間の総合演出	2	演習	○				中野・小山ほか	I・II 回生同時						*						
	200290	日本語基礎演習Ⅰ	話し方基礎	2	演習	○				木村雅	I・II 回生同時 隔年開講												
	200300	日本語基礎演習Ⅱ	話し方応用	2	演習		○			木村雅	I・II 回生同時 隔年開講												
	200310	インターンシップ	関心のある分野での実践力を磨く	4	実習		○	○	○	中野ほか													

区分	科目 ナンバー	授業科目	サブタイトル	単位	授業 形態	1 回生		2 回生		担当者	備考	免許・資格												
						前	後	前	後			デジタルデザイン					医療				園	生 社 福		
												IT	プロ	イラスト	フォト	ウェブ	色	医	診	レ			調	ソ
生活環境学科 選択科目	300190	フードデザインサイエンス	食品加工の科学と実践	2	演習		○			中野	I・II 回生同時													
	300200	暮らしの行事と文化	和洋の行事、儀礼と文化	2	講義	○				中野	I・II 回生同時													
	300210	医療管理学概論	病院管理・医療秘書実務	2	講義	○				尾崎好	[医療秘書実務]を含む						○	○	○	○				
	300220	薬の知識	知っておきたい薬の基礎知識	2	講義		○			瀬尾								○	○	○				
	300230	医療事務総論	診療報酬事務総論	2	講義		○			尾崎好								○	○	○	○			
	300240	医療保険請求事務演習・ 調剤保険請求事務演習	診療報酬事務演習 調剤保険請求事務演習	2	演習		○			尾崎好ほか								○	○	○	○			
	300250	レセプトコンピューター技術演習	診療報酬実践演習	2	演習			○		馬場栄								○	○	○	○			
	300260	人体の構造と機能	人体の構造と機能及び疾病	2	講義	○				木村弘								○	○	○	○			○

幼児教育保育学科

区分	科目 ナンバー	授業科目	サブタイトル	単位	授業 形態	1 回生 2 回生				担当者	備考	免許・資格												
						前	後	前	後			幼	保	リ 2級1級	絵 園	幼 社 福	デジタルデザイン							
																	IT	フォ	イロ	パレ	パレ	色		
必修	400010	保育者論	保育者の役割と責任	2	講義	○				堀田		◎◎												
	400020	教育原理	教育の基礎理論の習得	2	講義			○		奥本・吉田		◎◎					◎							
	400030	保育原理	保育の理念・歴史・制度 発達と学習の過程	2	講義				○	堀田		◎					◎							
	400040	社会福祉	社会福祉の基礎的理解	2	講義				○	藤原ほか		◎					◎							
	400050	幼児音楽基礎Ⅰ	保育音楽基礎	1	演習	○				上田・田中・種子田		○												
	400055	映像とデジタル表現	映像とデジタル表現の基礎	1	演習	○				馬場栄														
全 学 科 共 通 選 択 科 目	200010	生活と造形表現	造形表現の基礎	1	演習				○		開講せず		○											
	200015	生活文化演習	生活力を高めるために	1	演習	○				中野・守野		○												
	200020	IT 技術応用Ⅰ	情報の応用的な利用方法	2	演習				○	馬場栄														
	200030	IT 技術応用Ⅱ	プログラミング	2	演習				○	馬場栄														
	200040	情報リテラシー基礎	情報の応用的な活用方法	2	演習	○				馬場栄									*					
	200045	情報リテラシー応用	情報の応用的な活用方法	2	演習				○	馬場栄									*					
	200050	地域社会論	地域社会における様々な問題	2	講義	○				森井・早坂・池田														
	200060	色彩と空間	色彩と空間の関係	2	講義	○				中野													*	
	200070	デザイン技法	デザイン・デッサン	2	演習	○				宮上														
	200080	デザインと人間理解	デザインと色彩の心理的効果	2	講義	○				早坂														
	200090	マーケティング論	マーケティング心理・消費者心理など	2	講義	○				佐久間												*		
	200100	Web デザイン基礎	HTML/CSS	2	演習	○				馬場栄														
	200110	ビジュアルイゼーション	絵や言葉を図にする	2	演習	○				中野														
	200120	プログラミング	日商プログラミング検定対策	2	講義				○	馬場栄									*					
	200125	クリエイティブイ ンペーション	「創造的思考力」を実社会で応用する	2	演習	○				佐久間														
	200130	デジタルデザイン演習Ⅰ	Illustrator 演習	2	演習				○												*		*	
	200140	デジタルデザイン演習Ⅱ	Photoshop 演習	2	演習				○													*	*	
	200150	Web デザイン応用	Web クリエイター能力認定試験・ ウェブデザイン技能検定対策	2	演習				○	馬場栄												*		
	200160	デジタルデザイン応用	Illustrator・Photoshop クリ エイター能力認定試験対策	2	演習				○										*	*	*			
	200170	データサイエンス実践	データ分析演習・課外学習	2	演習				○															
	200180	Web プログラミング	JavaScript・PHP	2	演習				○															
	200190	デジタルマーケティング論	Web マーケティング・SEO	2	講義				○															
	200200	Web デザイン実践	Web サイト制作演習	2	演習				○															
	200210	課題解決演習	社会の多様性や関係性を理解する	2	演習	○				木村雅・永藤・木村弘	I・Ⅱ回生同時													
	200220	キャリアデザイン演習	誰もが健康で安心して暮らせる社会	1	演習	○				木村雅														
	200230	発表技法論	話題の整理と表現方法	2	演習				○	木村雅														
	200240	園芸福祉演習	園芸福祉士として活躍するために	2	演習				○	宮上							◎							
	200250	ガーデニングⅠ	初めてのガーデニング	1	演習	○				宮上							◎							
	200260	ガーデニングⅡ	庭づくり	1	演習	○				宮上							◎							
	200270	園芸デザイン	ゆとりある生活のために	1	実習	○				中野・宮上	I・Ⅱ回生同時													
	200280	テーブルコーディネート	空間の総合演出	2	演習	○				中野・小山ほか	I・Ⅱ回生同時													
	200285	グローバルスタディⅡ	興味・関心のテーマの発見	2	演習	○				林・瀬田・中朝助														
	200286	グローバルスタディⅢ	専門的知識と技能の統合	2	演習				○	林・瀬田・中朝助														
	200290	日本語基礎演習Ⅰ	話し方基礎	2	演習	○				木村雅	I・Ⅱ回生同時 隔年開講													
	200300	日本語基礎演習Ⅱ	話し方応用	2	演習	○				木村雅	I・Ⅱ回生同時 隔年開講													
	200310	インターンシップ	関心のある分野での実践力を磨く	4	実習	○	○	○		中野ほか														
	200320	卒業研究	知識・技術の追求	2	演習				○	専任														

区分	科目 ナンバー	授業科目	サブタイトル	単位	授業 形態	1 回生		2 回生		担当者	備考	免許・資格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
						前	後	前	後			幼	保	リ 2級	級	絵 園	幼 社 福	デジタルデザイン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
																		IT	ア	イ	フ	パ	カ	色																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
幼 児 教 育 保 育 学 科 選 択 科 目	400060	幼児音楽基礎Ⅱ	保育音楽応用	1	演習			○		上田・田中・種子田		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						</

2. 卒業するために

(1) 卒業に必要な単位数

◇本学を卒業するためには、2年以上在学し、各学科で必要とされる所定の単位数を習得しなければなりません。

◇卒業するためには、学則第25条に従い、次に示す通りの単位を習得しなければなりません。

区 分	総合教養科目	専門教育科目	合 計
生活環境学科	12 単位以上	54 単位以上	66 単位以上
幼児教育保育学科		54 単位以上	66 単位以上

◇次の各項についても、注意してください。

- ① 学則第11条に規定する「総合教養科目」については、各学科とも「特別演習」「人権教育の研究」「キャリアデザイン」「IT技術Ⅱ」の必修科目を含めて、12単位以上を習得しなければなりません。
- ② 学則第11条に規定する「専門教育科目」については、各学科における必修科目を含めて「全学共通選択科目」、各学科の「選択科目」から履修し、上表に示す通り単位を習得しなければなりません。

◇卒業に際して「**短期大学士**」の学位が授与されます。

(2) 授業時間

「講時」制をとっている関係上、90分をもって1講時としています。

(3) 受講登録

- ① 学期始めには、当該学期の開講時間割表にもとづいて履修しようとする授業科目を選択のうえ、指定の期日までに教務システムに入力し、履修科目の登録を行います。
- ② 登録をしていない授業科目については授業および試験を受けることができません。
- ③ 1年間に登録できる履修科目の単位数の上限は原則48単位とします。但し、本学が規定する特例の科目及び成績優秀な学生等については、上限を超えて履修科目の登録を認める場合があります。

(4) 履修単位の認定

- ① 履修科目の単位の習得は、学期末に行われる定期試験等に合格することによって認定されます。
なお、科目担当教員の指示によって、レポート、実技成果などをもって試験に代えることがあります。
- ② 授業料の未納者および欠席回数が総授業回数の3分の1を超えた者は、定期試験の受験（レポート、作品の提出等を含む）を認めず、単位を習得することはできません。
- ③ 学習の評価は、S、A、B、C 及び D の5段階をもって示し、S、A、B、C を合格とし、D を不合格とします。
- ④ 定期試験等の結果不合格と判定された授業科目については、試験に関する規程第15条により1回に限り再試験を受けることができる場合があります。
- ⑤ 正当な理由によって定期試験等を受験できなかった者は、試験に関する規程第12条により追試験を受けることができます。なお追試験を受けた者は再試験を受けることはできません。
- ⑥ 単位を習得できなかった授業科目のうち必修科目については、次の開講学期に再び履修しなければなりません。

(5) GPA について

GPA（Grade Point Average の略）は、学生の学習成果を数値化したものです。

本学では、より教育効果を高めるために成績評価基準の一つとして、GPA 制度を用い、学生が自身で“学習の達成度”を測定できるよう活用します。

【成績評価と GP】

評価区分	本学の評価	評価基準	付加する GP
100～90点	S	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている	4
89～80点	A	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている	3
79～70点	B	到達目標を達成している	2
69～60点	C	到達目標を最低限達成している	1
59～0点	D	到達目標を達成していない	0

GP（Grade Point）：成績評価に応じて与えられる数値

【GPA を算出する計算式】

$$\text{GPA} = \frac{(\text{当該学期に評価を受けた各授業科目で得た GP} \times \text{当該授業科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{各学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計}}$$

1. GPA の計算は、成績発表後に通知します。
2. GPA は、実習審査や就職活動の推薦書、卒業判定、編入学試験等の資料となります。

(6) 学習成果について

本学では、ディプロマ・ポリシーに基づいた身につける能力（コンピテンシー）を全履修科目に設定し、学習成果の指標としています。（P. 9）

履修した成績評価に基づいた学習成果は、教務システムで確認することができます。また、履修登録時に各自の目標設定、成績評価後には目標評価をおこないます。これらの目標管理では、各担任が個人面談等を通じて支援を行います。

3. 授業について

(1) 週5日制と授業時間帯

◇本学では、週5日制を実施しています。

授業は下記の時間帯で月曜日から金曜日まで行います。ただし、補講や学外研修・実習についてはこの限りではありません。

◇学期（「セメスター」）は前期と後期に分かれていますが、1日の授業時間帯は、年間を通じ次のとおりです。

第1時限	9:00～10:30	第4時限	14:40～16:10
第2時限	10:40～12:10	第5時限	16:20～17:50
第3時限	13:00～14:30		

※但し、感染症、自然災害時等に対応して通学等への配慮のため、上記時間帯を変更することがあります。詳細については、その都度、本学ホームページ・教務システム・掲示・一斉メールおよび担任等の短期大学からの連絡に注意してください。

(2) 出欠席について

◇登録した科目の欠席回数が総授業回数の3分の1を超えた場合は、定期試験の受験（レポート、作品の提出等を含む）を認めず、単位を習得することはできません。

◇遅刻は授業開始後10分以内とします。また、遅刻3回で欠席1回とみなします（早退も同様）。

◇下記(3)の「公認欠席」に該当する欠席であっても、それを含む総欠席回数が総授業回数の3分の1を超えた場合は、担当教員の指示に従って、超過欠席回数分の補講を受けなければなりません。

◇公認欠席について、次の場合は、公認欠席とされます。

① 所定の「届」を提出してください。

(ア) 忌引（事実が発生した日を含め下記の間）

・ 父母、配偶者、子……………7日

・ 祖父母、兄弟姉妹……………3日

・ 曾祖父母、伯父母、叔父母……………1日

(イ) 学校感染症（学校保健安全法施行規則第18条）にかかった場合

② 所定の「欠席願」で事前に承認を受け、報告書を提出してください。

(ア) 学友会派遣 (イ) 就職試験、面接

(ウ) 公的行事への参加等、学長が認めた場合

◇公認欠席は、1授業科目について、各学期3回を超えることはできません。

(3) 遠隔授業について

- ◇学校保健安全法施行規則が規定する伝染病の対策、特別警報・暴風警報の発令、公共交通機関の不通またはその他学長が必要と認める事由がある場合は、遠隔授業を行うことがあります。
- ◇遠隔授業の方法等については、事前に教務課から教務システム・掲示・一斉メールまたは短期大学から連絡があります。

4. 試験について

◇本学の試験は、「甲子園短期大学試験に関する規程」に基づいて実施されます。

特に「追試験」や「再試験」を受験する場合は、受験できる要件、申込の手続きなどによく注意してください。

◇すべての試験について、受験資格が認められていても

◆学生証を呈示しない者

◆定刻より 15 分以上遅刻した者

は受験できません。

《本学の試験一覧》

	実施方法	対 象 者	受 験 資 格	評価	その他
定期試験	各年度の学期末毎に実施	受験資格を有する者	(1)教科担当教員より履修の承認を受けている者 (2)欠席回数が総授業時間数の1/3を超えていない者 (3)授業料を納入している者 (4)その他受験資格の喪失を決議されていない者	S A B C D	
追試験	定期試験の結果発表後に実施	受験資格を有しながら定期試験を受験しなかった者で、定期試験終了日の翌日までに所定の用紙（教務課交付）で追試験を願い出て審議の上承認された者	(1)病気および負傷のために登学出来なかった者 (2)欠席の許可を得ている者 (3)火災・風水害その他の災害、交通事故などにおいて登学不能の事由が生じたとき (4)家族の不幸、その他のやむをえない事由による者 (5)学長が特に認めた者	A B C D	受験料 1科目につき 1,000 円
再試験	定期試験の結果発表後に実施することがある	定期試験で不合格となった科目について所定の期日に所定の用紙（教務課交付）で再試験を願い出た者		C D	受験料 1科目につき 2,000 円

※新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等により試験を欠席した場合は別途対応します。

5. 他大学との単位互換制度について

(1) 放送大学

◇**放送大学**は、国の出資によって設立された「放送メディアを使って授業を行う正規の大学」です。生涯学習の時代に即応し、放送等を効率的に活用した新しい教育システムにもとづく大学教育を行うことにより、レベルの高い学習の機会を広く国民に提供するとともに、大学教育のための放送の普及発展を図ることを目的としています。

◇本学は、平成7年度から放送大学との間に「**単位互換協定**」を結びました。

それによって、本学の学生は、放送大学の授業科目を履修してその単位を修得すれば、最大15単位まで本学の卒業単位として認定されることになりました。

◇放送大学の科目は、すべて1期で、2単位科目は15回（1回45分）、4単位科目は30回の授業をBSテレビ、ラジオ、インターネットで視聴し学びます。

◇本学学生が履修できる学期は、Ⅰ回生後期とⅡ回生前期の2学期です。

◇入学時のオリエンテーションと各学期前の適当な時期に履修指導を行います。

(2) 西宮市大学交流センター

◇西宮市大学交流協議会に加盟している大学・短期大学では相互の協力交流を通じて教育課程の充実を図るとともに、学生の幅広い視野の育成と学習意欲の向上を目的として、西宮市大学交流センター（場所：西宮市北口町1-2「ACTA 西宮」東館6F）に単位互換制度にもとづく共通単位講座が設けられています。

加盟大学：甲子園短期大学、関西学院短期大学、武庫川女子大学短期大学部、大手前大学、
関西学院大学、神戸女学院大学、兵庫医科大学、武庫川女子大学、甲南大学、
大手前短期大学

◇希望する学生は、西宮市大学交流センター共通単位講座の授業科目を履修し、その単位を修得すれば総合教養科目の卒業単位として認定されます。自分を上げ、磨くために積極的に活用してください。

◇入学時のオリエンテーションと各学期前の適当な時期に履修指導を行います。

◇詳細は、学務部教務課まで。

6. 気象警報発令時・交通機関不通時における授業・試験について

(1) 気象警報発令時

《授業に関して》

兵庫県西宮市に特別警報または暴風警報が発令された場合、発令された時点以降の授業は休講とします。教務システムで確認してください。

- ・午前7時までに解除された場合、第1時限から開講
- ・午前10時までに解除された場合、第3時限から開講

なお、授業中に発令された場合は、大学が協議のうえ、当該授業を休講とする場合があります。

◇警報が自宅の地区に出ている学生、または警報が出ている地域を通過して登学する学生は、当日欠席しても上記理由の欠席届を提出することにより公認欠席と同様の扱いとします。

◇ただし、発令等が予報されている場合は、「3. 授業について」の「(3)遠隔授業について」を実施することがあるので確認してください。

《試験に関して》

兵庫県西宮市に特別警報または暴風警報が発令された場合、発令された時点以降の試験は実施しません。教務システムで確認してください。

ただし、

- ・午前7時までに解除された場合、第1時限から試験を実施
- ・午前10時までに解除された場合、第3時限から試験を実施

なお、試験中に発令された場合は、大学が協議のうえ、当該試験を中止する場合があります。

◇警報が自宅の地区に出ている学生、または警報が出ている地域を通過して登学する学生は、当日欠席しても上記理由の欠席届を提出することにより後日試験を受験することができます。

(2) 交通機関不通時

《授業に関して》

地域的・部分的な交通機関が不通の場合は、通常通り授業は開講しますが、代替機関によっても登学できない場合は、欠席しても上記理由の欠席届を提出することにより公認欠席と同様の扱いとします。

《試験に関して》

地域的・部分的な交通機関が不通の場合は、通常通り試験は実施しますが、30分までの遅刻を認めます。なお、30分以上遅刻した場合、または代替機関によっても登学できない場合は、欠席しても上記理由の欠席届を提出することにより後日試験を受験することができます。

7. おもな行事について 〈※諸事情により、変更となる場合があります。〉

◇本学のおもな年間行事は、次のとおりです。

(1) 高野山研修（Ⅱ回生 4月）

高野山の奥の院にある「甲子園学院物故者慰霊塔」に参拝して、校祖久米長八先生のご遺徳を偲び、本学院の建学の精神を理解し、実践する決意を固める行事です。

(2) 大学祭（10月～11月）

保護者、卒業生などを招いて、日ごろの活動の成果を発表する一方、多彩な文化的催しを含めた秋の行事です。

(3) 学内成人式（Ⅱ回生 1月）

卒業を間近にしたⅡ回生を学内で祝い励ます行事です。

成人としての自覚をもって、力強く進んでいこうと決意を新たにする学生たちを祝福します。

(4) 追悼式（3月3日）

校祖久米長八先生のご命日であるこの日に毎年学院関係者全員が一堂に会し、校祖先生のご遺徳を偲び、かつその年の学院関係物故者を追悼する学院最大の行事です。

厳粛な追悼式典と記念講演会に建学の精神に立ち返り参加することによって、自己を顧みるとともに明日への飛躍を誓う日でもあります。

8. ラーニング・コモンズの利用について

◇ラーニング・コモンズとは、グループ学習を行ったり、自学自習をするための施設です。静かに学習する図書館とは違い、ホワイトボードやパソコンを使い、グループで討論したり、発表の原稿作成や練習をすることができます。自主的かつ積極的にラーニング・コモンズを利用し、主体的な学びを通して、問題解決能力の向上や発信力のスキルアップ等に努めてください。

（こんな時に利用しよう）

- (1) 能動的学習（アクティブラーニング）
- (2) 課題に対するグループ討議や協働学習
- (3) 卒業研究や授業で指示のあった課題・レポートの作成
- (4) レポートの書き方、資料の整理等の学習相談
- (5) 学外実習などの事前・事後学習
- (6) インターネット検索による就職のための企業研究
- (7) その他学びに関わる自学自習

◇利用ガイド

(1) 開室時間 月～金

9:00～18:00

※臨時に開室時間等を変更する時は、事前に掲示します。

(2) 利用について

- ・利用する前に、設置している所定の用紙（台帳）に必要事項を必ず記入してください。
- ・パソコンやプリンターの詳しい利用方法については掲示等で示していますので、必ず守ってください。

9. オフィスアワーについて

◇オフィスアワーとは、学生の質問や相談に対応するため、教員が各研究室に待機している時間帯のことです。「授業や学びに関すること」「学生生活に関すること」「就職やこれからの人生に関すること」など話（悩み）を聴いてもらうことから、次の一歩が始まります。また、「さらなる資格を取りたい」「一歩進んだ勉強がしたい（スキルを習得したい）」「ボランティア活動をしたい」という方も、たずねてみてください。きっと、具体的な助言や指導が得られることでしょう。

遠慮したり、躊躇したりせず、積極的にこの機会を活用しましょう。

◇各教員の担当曜日・時間帯は指定されています。掲示板等で確認してください。

10. 図書館の利用について

◇図書館は、大学における学習および研究のための基本的な機関であるとともに、地域社会の文化・情報センターとして地域の方々にも公開しています。自主的かつ有効に図書館を利用し、学習内容の補足と深化・拡充を図ることは大切です。

◇そのため本学では、特に図書館の整備充実を図っています。また、図書館ニュースの発行、課題図書を選定、読書感想文の募集などの活動を通じて読書習慣の形成に努めています。

<蔵書>

開学以来、調和のとれた蔵書の構成に力を入れ、特に学科の教育内容に関連深い分野の充実に配慮しています。

<資料>

図書のほか、学術、教養、調査などの雑誌、紀要、パンフレット、リーフレットなどの資料を広範囲にわたって収集し、利用に供しています。

◇利用ガイド

(1) 開館時間 月～金

9:00～18:00

ただし、必要に応じて曜日・時間を変更することがあります。

館内掲示の日程表を確認してください。地域公開の開館日程は別に定めます。

※短大ホームページの図書館情報からも、日程表を確認できます。

(2) 利用について

- ・最初にカウンターで利用登録（2年間有効）の手続きをしてから利用してください。
- ・1回生は、入学当初に新入生図書館利用ガイダンスを実施します。
また希望者を対象に課題や実習、卒業研究などで効果的に様々な資料を活用できるようになるガイダンスも実施しています。希望する日時をカウンターで申し込んでください。
- ・1階の書庫は開架式です。2階閲覧室の書籍とともに自由に閲覧することができます。
- ・図書は原則として、日本十進分類法（NDC）により主題分類順に並んでいます。
- ・パソコンによる蔵書検索システム（OPAC）やカード目録で、図書名、分類記号を確かめてください。
- ・不明な点は司書にお尋ねください。

(3) 帯出と返却

- ・図書の帯出には次のような制限があります。

帯出冊数	4冊	期間	1週間
------	----	----	-----

- ・延長は2回認めます。
- ・返却はカウンターにしてください。
- ・長期休暇中は別途定めます。
- ・卒業研究対象図書は相談に応じます。

(4) 参考調査（レファレンス・サービス）

司書が次のような事項の相談に応じています。気軽に申し出てください。

- ・図書館の利用方法
- ・文献の調べ方、資料の探し方（所蔵調査・入手方法）
- ・特定のテーマについての情報検索支援
- ・他大学の図書館等の利用
- ・その他学習、調査、研究に必要な文献や情報の検索方法

(5) 文献複写について

館内には複写機が設置してあり、下記の条件で利用することができます。

9:00～17:00	費用1枚10円（白黒）
	費用1枚50円（カラー B4・A4・B5）
	費用1枚80円（カラー A3）

(6) インターネットの利用について

館内設置のコンピュータでインターネットによる情報検索が可能です。利用する場合は、カウンターへ申し出てください。

11. レポート・論文作成上の剽窃（盗用）行為への注意

◇授業の課題として課せられるレポートや論文を作成する際に、他人の文章（書籍・論文・Web ページ）をそのまま無断で借用したり、他の学生が作成した文章や生成 AI を使用した文章を自分の文章であるかのようにみせかける剽窃（ひょうせつ）（盗用）行為は絶対にしてはいけません。

剽窃行為は、他人の学問的業績を無断で借用することであり、学問のルールに反するだけでなく、場合によっては他人の著作権を侵害する犯罪行為にもなる社会的に許されない行為です。

◇次のような行為は、剽窃（盗用）とみなされます。また、これに類似した行為や剽窃を助ける行為（レポート等のひな形を作成して他人に見せること等）も同様です。

- ・活字媒体（書籍・雑誌・新聞等）や Web サイト等に掲載された他人の文章（無署名であっても）や資料等について、出典を示さずにそのまま使ったり、あるいは前後関係や語句を若干変更した程度でレポート・論文を作成すること。
- ・引用した部分を具体的に示さず、レポート・論文の最後に「〇〇参照」などと簡単に触れるにとどめること。
- ・他人が作成した文章をあたかも自分が作成したかのごとくみせかけて、あるいは前後関係や語句を若干変更してレポート・論文を作成すること。

◇なお、グループでレポート作成するという指示が出ていない限り、レポート・論文は自分自身で作成してください。共同でレポート・論文作成準備をし、類似したものを提出すると、全員が剽窃（盗用）行為を行ったものとみなされます。

以上のような、剽窃あるいは剽窃を助ける行為が明らかになった場合、不正行為とみなされ、採点の対象外になったり不合格等の成績評価になる場合があります。